



平成18年11月8日

各位

会社名 株式会社 ノジマ
代表者名 代表執行役会長 野島 廣司
代表執行役社長 三枝 達実
(JASDAQ・コード7419)
問合せ先
役職・氏名 取締役 兼 執行役
財務経理本部長 庄司 友彦
電話 050-3116-1212
070-5461-5604

平成19年3月期（単独・連結）業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想について、平成18年5月8日付当社「平成18年3月期個別財務諸表の概要」、「平成18年3月期決算短信（連結）」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成19年3月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	48,500	1,000	480
今回修正 (B)	45,400	300	120
増減額 (B-A)	▲3,100	▲700	▲360
増減率 (%)	▲6.4	▲70.0	▲75.0
前年実績 (参考)	45,808	896	457

(2) 修正理由

売上高につきましては、薄型テレビを中心としたデジタルAV機器、白物家電を中心とした家電製品の売上は大きな伸びをしましたが、当社は市場においても伸び悩んでいるパソコンおよび関連商品の販売比率が高いこともあり、その不振を補うことはできませんでした。さ

らには下期の新規出店を見据え、スクラップ&ビルドを推進し3店舗の開店に対し、商圈が重なる4店舗を閉鎖するなど閉店を先行させたことにより、45,400百万円（当初予想比：3,100百万円の減少）となる見込みであります。

経常利益につきましては、上記スクラップ&ビルトの費用や、下期の新規出店の為の人員確保、又、戦略的な販促費の増加などにより300百万円（当初予想比：700百万円の減少）となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記スクラップ&ビルトによる固定資産除却損（33百万円）などにより120百万円（当初予想比：360百万円の減少）となる見込みであります。

(3) 通期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	101,500	2,700	1,330
今回修正（B）	98,400	1,800	720
増減額（B-A）	▲3,100	▲900	▲610
増減率（%）	▲3.1	▲33.3	▲45.9
前年実績（参考）	95,342	2,338	1,298

(4) 修正理由

通期の業績見通しにつきましては、下期新規出店などの新規出店など、中間期業績の未達や新規出店に係るオープニングコスト等を勘案し、売上高98,400百万円（当初予想比：3,100百万円の減少）、経常利益1,800百万円（当初予想比：900百万円の減少）、当期純利益720百万円（当初予想比：610百万円の減少）となる見込みであります。

2. 平成19年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成18年4月1日～平成18年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想（A）	64,200	1,300	640
今回修正（B）	59,000	500	160
増減額（B-A）	▲5,200	▲800	▲480
増減率	▲8.1	▲61.5	▲75.0
前年実績（参考）	56,150	1,230	538

(2) 修正理由

中間期の連結の業績見通しにつきましては、上記単独業績の修正理由に加えまして、当社連結子会社のうち、eコマース部門を担うイーネット・ジャパンと、音楽CD、DVD部門を担うWAVEの業績不振の影響により、売上高、経常利益、中間純利益は、それぞれ59,000百万円（当初予想比：5,200百万円の減少）、500百万円（当初予想比：800百万円の減少）、160百万円（当初予想比：480百万円の減少）となる見込みであります。

(3) 通期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	134,500	3,600	1,800
今回修正 (B)	129,000	2,300	920
増減額 (B-A)	▲5,500	▲1,300	▲880
増減率	▲4.1	▲36.1	▲48.9
前年実績 (参考)	118,012	3,080	1,608

(4) 修正理由

通期の連結業績予想につきましては、単独の業績予想に記載に加え、業績不振の連結子会社の収益力改善に相応の期間を要すると考えられることから、売上高、経常利益、当期純利益は、それぞれ129,000百万円 (当初予想比：5,500百万円の減少)、2,300百万円 (当初予想比：1,300百万円の減少)、920百万円 (当初予想比：880百万円の減少) となる見込みであります。

3. ご参考：前期の実績 (平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(前年単独業績の実績)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (4/1～9/30)	45,808	896	457
通期 (4/1～3/31)	95,342	2,338	1,298

(前年連結業績の実績)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期 (4/1～9/30)	56,150	1,230	538
通期 (4/1～3/31)	118,012	3,080	1,608

以 上